

韓日親善連絡委員会に出席して

パスト・ガバナー 田 中 善 六

日韓親善連絡委員に委嘱されたのが、四月十八日、超えて五月二〇日には東京における第一回の日本側委員、顧問末永国際ロータリー理事を含む十名の方々の会合があり、委員会規約の作成により正式に発足。その活動の目的を次のように定義づけられました。

- 一、韓日親善連絡委員会との合同委員会の企画開催
- 二、日韓親善会議の企画開催
- 三、青少年交換計画、インターアクト、ロータリーアクトの交流、その他日韓青少年の交流の計画の援助、斡旋
- 四、ロータリー米山記念奨学金及び、韓国ロータリー奨学文化財団との交流企画推進
- 五、姉妹クラブ提携に関する情報提供、及び斡旋

このような両国における、ロータリー活動の推進発展に大きな役割を果たさんとする委員会は過去にも存在しましたが、これらは国際ロータリー会長が主催したものであり、今回は一九八九年五月二十一日二十四日にソウルにて開催されます。

国際大会の成功を期したい韓日両国の熱意におい

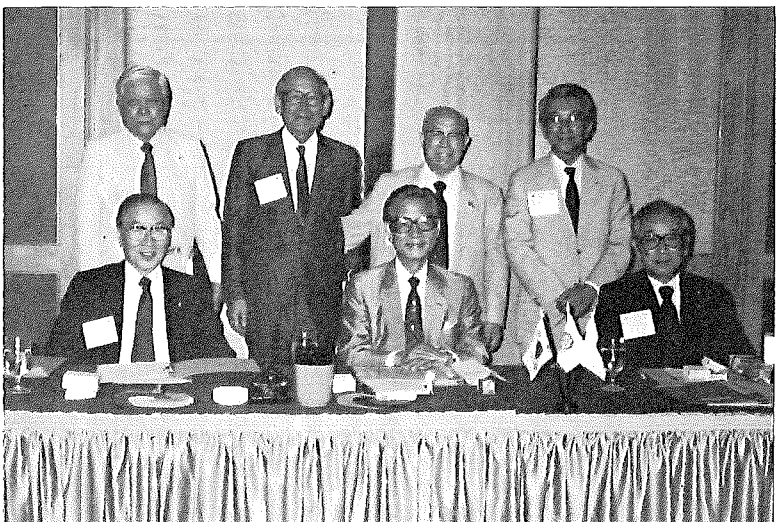
分科会は四人ずつで四つの分科会に分かれ、卒直に危懼ない自由な討論が展開され、非常に建設的であり、極めて有意義なものとなりました。

以下、各分科会リーダーの報告の概要をまとめて見ますと、歴史的背景からする両国の不幸な関係を私共ロータリアン同志の相互の親善交流によって、或いは奉仕活動を通じて役立てて行きたい。現在韓国をロータリー活動を通じて役立てて行きたい。現在韓国の若いロータリアンは日本語も英語も話せない人が多くなりつつあり、言葉の障害は両国親善交流の大きな障害要因を形造っている。そこでこれらを解決する一番の近道は青少年交換計画を活性化させ相互交流を計るべきであるが、どうも韓国からの派遣はあっても日本からの派遣が少ないのでこの辺を考慮の上、この親善連絡委員会の中に青少年交換を取扱う小委員会を設けるべきであるとの意見が出された。又、日本の米山記念奨学生についての韓国での広報、或いは韓国ロータリー奨学文化財団との相互情報交換等の重要性が指摘されました。又、ロータリークラブの姉妹提携もガバナー同志の話し合いが必要であり、ガバナーノミニ相互の知り合いを深めて貰う機会を作ることが肝要ではないか。地区大会などには両国のロータリアンの参加があれば一層友情の輪が進展するであろうし、更に地区大会の会長代理を出来るだけ両国から選出して頂けるよう国際ロータリーに、要請すべきであるなども話し合われました。

又、両国発行のロータリーの機関誌に韓国語、或いは日本語にほん訳された記事の掲載によって両

て、この委員会が新たに設置されたとの事。両国のメンバーは左記の通りで任期は二年と定められました。

両国委員の第一回会合が、八月二十二・二十三日の三日間の予定にて、韓国側主催により濟州島で開催されました。我々日本側委員が午後五時十分、濟州島空港に到着すると、思いもかけない呉在環連絡委員長以下全員の温かい出迎えを受け、握手を交わし、ロータリーの友情に感謝し、一路宿舎のハイアットホテルに直行。午後七時三十分より歓迎式典、そしてパーティが繰り広げられ、韓国側は親善連絡委員の他に、濟州島全域八ロータリークラブ会長並に分区代理まで参加され、心のこもった歓迎となり、夫々のクラブの現況など開陳され、和やかな雰囲気のもとに会食が続き、第一回親善会議の前夜を楽しく打ち離れたものにして頂きました。翌二十一日は午前九時三十分から両国委員のみの全体会議があり、韓日親善連絡委員長、呉在環氏の歓迎のことばに始まり、日本側委員長、菅野多利雄氏のあいさつ、そして最後に私の同期のガバナーであった漢陽RCの宋仁相氏の全体会議後に開かれる分科会の討議の参



国相互の心の交流を図ることも大切であり、これが実現のため努力する事を申し合わせました。

一九八九年五月二十一日二十四日に開催される、ソウル国際大会に日本から一五、〇〇〇人のロータリアン並びに家族の参加を要請されていますが、そのキーポイントはなんと申してもご婦人方の参加を誘うに相応しい魅力ある大会プログラムにあると思われるので、それらを充分配慮し、出来るだけ早い時期に発表されるようお願いしたい。そして一九八九年ソウル国際大会は韓国、日本の共同の大会

考資料として、日韓両国の政府レベルでの目下の問題点などの報告がありました。

この度の会議を通じ最も印象的であったのは、昨年松永年度の地区大会に国際ロータリー会長代理としておいで頂いた呉在環氏に親しくお目にかかれた事と、その歓迎のあいさつの素晴らしさに感動しました。即ちこの濟州島は夢の国として特に我が国の若い者達の憧憬の地であります。この島に案内いたしましたのも私達の夢を大きな実りあるものにしたからです。ロータリーを共に生きる真心からの友情と善意が、本当に両国ロータリアンとして一心に作りあげ、一つの世界に生きる、いとこ同志であることを証拠だてることを願うからであります。私達が共に夢を描き、その夢を本当のものにするこの喜びに存分に浸り得るよう大きく夢見るのでございませう。

人間は彼が持つ夢の大きさ程偉大であり、まことなる言葉の大きさほど偉大であり、切り開いた運命の大きさほど偉大であると聞きました。この偉大さが私達すべてのものであり得るよう、この集いが大きな意味を持つものであることを大きく期待致すものであります」と述べられ、深い感銘を受けました。

となるような心構えでこれに対処し、この大会の成功を果したいと結ばれ、尚、このような実のある討議と結論をこのままにしては勿体ないとの話し合いの末、来年三月末乃至四月初めに日本側の設営により、第二回日韓親善連絡委員会を福岡で開催することを決定した。

最後に、先ず臆より始めよ、のたとえの如く今回委嘱された両国の委員同志の相互の理解と友情を持つ努力が必要であり、活発な交流が望ましく、両国に友人を一人でも多く作ることでであると結論づけられ、呉在環委員長からより一層の密度の濃さを実現するために韓国三七〇地区、安東RC、尹大宋（一九七八〜七九D.G.）を紹介され、いとこ同志の契りを交わし、再会を約し散会しました。

以上の様な会議内容でありましたので、今後二ヶ年間に不肖私はその任にありますが、地区内皆さまの日韓間の親善交流に微力ではありますが奉仕の誠を捧げたいと心に期しておりますので、姉妹クラブ提携、青少年交換等の希望、インターアクト、ロータリーアクト、親善訪問の計画、或いは、クラブメンバー有志の訪韓についての先方様との連絡等について出来る限りの斡旋をしたいと存じておりますのでなんなりとお問い合わせ頂ければ幸いですと思っております。